


## オペレーショナルリスク管理とは ～その手法、実効性ある管理への課題～

基本的な用語や、おのこの概念、リスク計量化モデルや管理手法の概要について網羅的に俯瞰します。さらに、それがどのように金融検査マニュアルに投影され、業務遂行に関わっているかなど、わかりやすく解説します。

また、東日本大震災の後にオペレーショナルリスク管理として、どのようなことが求められていくのかを考察します。

改めてオペレーショナルリスクの概念、課題を整理しておきたい経営者、管理者の方  
金融機関の内部監査部門に新たに配属された方、システム開発部門の方  
金融機関関連会社やシステム開発ベンダーでオペリスクについて学習したい方

開催日：2012年2月23日（木） 24日（金） （1.5日間）

会場：第2ニッキンホール（東京・市ヶ谷）

監修、講師： （敬称略）

有限責任監査法人 トーマツ 金融インダストリーグループ

シニア・マネジャー

小西 仁

シニア・スタッフ

宮宇地 和音

**CMC**

*Computer Based Management College*

<http://www.nikkinn.co.jp/CMC/>

上記サイトからWebでの申し込みが出来ます

後援 社団法人 全国地方銀行協会

社団法人 第二地方銀行協会

社団法人 全国信用金庫協会

社団法人 全国信用組合中央協会

## 研修の対象

金融機関の内部監査部門、経営管理部門、リスク統括部門に新たに配属された方、収益・リスク管理系の関連システム開発部門の方、改めてオペレーショナルリスクについての概念、課題を整理しておきたい経営者、管理者の方、金融機関関連会社やシステム開発ベンダーの方。オペレーショナルリスクについての基本的なところから、新BIS規制、ERM、J-SOXとのかかわり、金融検査マニュアル及び検査方針におけるチェックポイントを改めて整理・理解しておきたい方々。

## コースのねらい

オペレーショナルリスクの認識は、あらゆる業務展開や業務運営の中で、今や不可欠の検討要素となっている。金融機関においては、金融検査マニュアルはじめ、BIS 監督指針でも明確に定義され、それを認識、管理し、適切なモニタリング、コントロールを図ることが求められている。一方で「その他」リスクといわれるように、その範囲は広く、全ての業務において、自然災害から人的要因、法令違反など様々なリスクを想定し対処していく態勢も求められる。業務遂行上どのようなリスクが考えられるのか、またどのように要因をとらえ、おのおのにどう対処をしていくのかといった基本的な認識から、BIS 規制で重視されるシステムリスク、事務リスクを中心にその計量化を含めた管理手法をわかりやすく解説し、理解を深める。また、実効性あるオペレーショナルリスク管理とは、J-SOX や、ERM、事務品質向上策や業務プロセス改革、効率化などの取り組みとはどういう関連があるのかなどの課題を整理し、東日本大震災の後にオペレーショナルリスク管理としてどのようなことが求められていくのかを考察する。

## 本コースの位置付け

金融にかかわるすべての方を対象とした CMC の「銀行業務研修・基礎コース」「本部業務コース」「銀行業務研修中級・勘定系システムコース」「融資業務コース」「収益・リスク管理コース」に続く銀行業務研修シリーズ。「基礎コース」「本部業務コース」を受講した方を対象に、その延長としてより深い金融専門知識を身につけていただくコースとして、「内部管理コース」を設け、「IFRS の概要と対応編」「金融機関における情報セキュリティ管理」「パーゼ ル 概要」に続き、開講した。

## 開催要綱

日 時：2012年2月23日(木)、24日(金) 1.5日間  
時 間：1日目 13:00~17:00、2日目 10:00~16:00  
講師名：有限責任監査法人トーマツ

シニアマネジャー 小西 仁  
シニアスタッフ 宮宇地 和音

会 場： 第2ニッキンホール(東京・市ヶ谷)

受講料：

- ・ CMC 会員価格 51,450円(本体価格49,000円、消費税2,450円)
- ・ 後援協会会員機関 53,550円(本体価格51,000円、消費税2,550円)
- ・ CMC 非会員価格 57,750円(本体価格55,000円、消費税2,750円)

(2日目の昼食はこちらで用意いたします)

## <講師の紹介>

### 小西 仁 (有限責任監査法人トーマツ シニアマネジャー)

慶應義塾大学(経済学部)卒業。大手証券会社、情報システムベンダーの勤務の後、大手監査法人系コンサルティング会社を経て、07年に有限責任監査法人トーマツ入社。日本証券アナリスト協会検定会員。銀行、保険、証券等の金融機関に対して、パーゼ ルやソルベンシー等の規制関連業務、オペレーショナルリスク管理態勢高度化支援業務、内部監査支援業務等を実施している。主な著書(共著)は『パーゼ ル 対応のすべて』(金融財政事情研究会、08年3月)。

### 宮宇地和音 (有限責任監査法人トーマツ シニアスタッフ)

慶應義塾大学(商学部)卒業。一般事業会社勤務の後、在豪多国籍金融機関での勤務を経て、05年に有限責任監査法人トーマツ入社。米国イリノイ州公認会計士(USCPA)、公認内部監査人(CIA)。国内大手・外資系金融機関に対する内部統制監査・経営者評価支援業務を経験した後、金融機関の内部管理態勢(リスク管理、コンプライアンス、内部監査)に関する外部評価やコンサルティング業務に従事。

～オペレーショナルリスク管理とは～ カリキュラム

2月23日(木) 1日目 13:00~17:00、2月24日(金) 2日目 10:00~16:00

<p><b>1. オペレーショナルリスクの認識</b></p> <p>1.1 「その他リスク」と新B I S 規制</p> <p>1.2 金融検査マニュアルと新B I S 規制</p> <p>1.3 いまさら聞けない、「オペレーショナルリスクの種類と意味、用語と定義、解釈」</p> <p><b>2. B I S 規制でのオペレーショナルリスク管理</b></p> <p>2.1 オペレーショナルリスクに関する規制動向</p> <p>2.2 オペレーショナルリスクに関する定性的管理ツール(内部損失データ収集、R C S A、シナリオ分析、K R I)</p> <p>2.3 オペレーショナルリスクに関する定量的管理ツール(V a R とそのインプットデータ)</p>	<p><b>3. オペレーショナルリスク管理を取り巻く内部管理の整理</b></p> <p>3.1 事務過誤防止、品質維持向上策</p> <p>3.2 コンプライアンス対策</p> <p>3.3 B C P</p> <p>3.4 内部統制(J-S O X)</p> <p><b>4. 管理上の課題と方向性</b></p> <p>4.1 期待損失の管理と非期待損失の管理のギャップ</p> <p>4.2 P D C A プロセス</p> <p>4.3 業務監査</p> <p>4.4 内部統制の統合的管理とE R M</p> <p>4.5 東日本大震災を教訓としたオペレーショナルリスク管理の今後のあり方</p>
--	---

95

第20回 金融機関 内部管理コース

**オペレーショナルリスク管理とは**  
**～その手法、実効性ある管理への課題**

**ホームページ用受講申込書（2月23日～24日開講）**

貴社名

所在地 〒

TEL

FAX

Eメール

	参加者氏名	所属（部・課・グループ）	役職

お申し込みいただきました方には、受講証・請求書・会場地図をFAX致します。

**受講料 A：51,450円（本体価格 49,000円）**

（CMC金融機関機械化研究会会員機関）

（CMC金融ニュービジネス&テクノロジー研究会会員機関）

**B：53,550円（本体価格 51,000円）**

（後援協会会員機関）

**C：57,750円（本体価格 55,000円）**

（非会員機関）

（2日目の昼食はご用意します）

お申し込み・お問い合わせは、

株式会社 CMC

TEL 03 - 3261 - 4550 FAX 03 - 3261 - 4570 まで。

注：振込先銀行

みずほ銀行 市ヶ谷支店 普通預金 1797042

（名義） 株式会社 CMC

**振込予定日（できるだけご記入ください）**      月      日

受講についてお願い

受講料は、できるだけセミナー開催日までにお振込み下さい。

銀行振込の場合は領収書を発行いたしません。

銀行振込に際しては、貴社名の前に請求書番号の下3桁（枝番数字）を付記してください。

振込手数料は貴社でご負担をお願い申し上げます。

開催日一週間以内の受講キャンセルの場合、受講料の払い戻しはいたしません。

講演中の録音・撮影ならびに携帯電話・パソコンの利用はご遠慮ください。

ホームページに提携ホテル一覧がございます。特別割引もございますので是非ご利用下さい。

諸般の事情により開催を中止させていただく場合がございます。

**CMCのホームページからWebでの申し込みができます。**